

59 タカブシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Tringa glareola

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

北ヨーロッパから東ヨーロッパ、シベリア、カムチャツカ、千島列島北部などで繁殖し、繁殖後はアフリカ南部、アジア南部、中国南部、オーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。河口、河川、湿地、池沼、水田、ハス田などに生息し、昆虫類や甲殻類、ミズ類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、上三島諸島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、尖閣諸島、大東諸島



写真提供: 森田俊司

(性別: 不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、★明石市、西宮市、★洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、★高砂市、小野市、三田市、加西市、養父市、丹波市、★南あわじ市、朝来市、淡路市、加東市、★たつの市、★稲美町、神河町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と8-11月に生息するが、冬期にも記録がある。かつては県南部および北部で30羽-50羽前後の群れも稀ではなかったが、近年には単独または数羽、多くても10羽程度の群れが観察される程度に減った。最近では渡来地もかなり限定的となっている。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、本種には貴重な採餌場となっている。